

2022 年度学術推進プロジェクト
「侵襲性髄膜炎菌感染症の予防戦略に関わる *Neisseria meningitidis* の迅速
且つ簡便な検査法の構築」

東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 微生物・感染免疫解析学分野
太田 悠介



Neisseria meningitidis が引き起こす侵襲性髄膜炎菌感染症 (invasive meningococcal disease: IMD) は、致死率が高いだけでなく生存者の長期にわたる重大な後遺症を伴う壊滅的な疾患であることから、IMD 対策は世界における喫緊の課題です。IMD の予防戦略として、IMD 患者の同居者や濃厚接触者に抗菌薬やワクチンの予防投与・接種が行われますが、これらの適切な遂行には *N. meningitidis* に対する迅速、精確且つ簡便な検査法が必要でした。本申請課題では、*N. meningitidis* における予防投与抗菌薬のシプロフロキサシン耐性を、PCR-RFLP 法及びミスマッチ PCR 法により迅速に検出できる測定系を構築しました。また *N. meningitidis* の菌種及び主要 6 血清群を、multiplex PCR 法及び PCR dipstick DNA chromatography により簡便に検出できる測定系を構築しました。

この度は、学術推進プロジェクト研究として本申請課題を御採択いただき、関係の皆様方に心より感謝申し上げます。今回いただいたご支援は、私たちの研究を推進する大きな原動力となり、今後も成果を社会へ還元し、検査医学の発展に貢献して参ります。改めて深く感謝申し上げますとともに、引き続きご指導賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。